

強くしなやかな
JR産業を築くために
組織と運動を磨き、責任ある活動を
全力で推し進めよう!



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590
FAX (NTT) 03-3270-4429
1部20円(但し組合費に含む)
●発行者 荻山市朗 ●編集者 宮野勇馬

facebook
JR連合

(旧twitter)
JR連合

第50回衆議院議員選挙結果を踏まえてのコメント

2024年10月28日

第50回衆議院議員選挙において、ご支援ご尽力いただいた組合員や家族の皆さまに御礼申し上げます。また、推薦候補の必勝に向けて献身的に奮闘されたすべての関係者にも敬意を表し、心から感謝申し上げます。

自民党派閥の政治資金問題や統一教会癒着問題など、与党政治の腐敗と闇が噴出し混乱する中、第102代内閣総理大臣に就任した石破茂氏は、10月1日付で第214回臨時国会を召集したものの、わずか9日間で衆議院を解散し、10月15日公示・27日投開票という戦後最短の選挙戦となった。先立つ9月23日には、立憲民主党が野田佳彦氏を党首とする新体制を確立し、政権交代実現を目標に掲げ選挙に臨んだ。一方、全289小選挙区のうち、与党公認候補と、立憲・維新・共産・国民の主要4野党のいずれかの公認候補が「一騎打ち」の形で争うのは、前回の半数にも満たないわずか52選挙区にとどまり、野党乱立・政権批判票分散の構図となった。今選挙では、目下の物価高克服に向けた経済・社会政策や、安全保障政策、激甚化する自然災害への対応等が重要な課題として挙げられたが、さらには、自民党の「政治とカネ」問題と一連の対応への評価、政治への信頼を取り戻せるかが強く問われた。

こうした中、J R 連合は各単組からの推薦にもとづき、連合の方針およびJ R 連合の掲げる運動理念や政策に賛同する候補者119名の推薦を決定し、当選に向けた取り組みを全国で展開した。とりわけ、J R 連合国会議員懇談会の副会長である伴野豊氏(愛知8区)と泉健太氏(京都3区)や、事務局局長である小川淳也氏(香川1区)、同幹事である原口一博氏(佐賀1区)、大串博志氏(佐賀2区)の5名を最重点候補に、また「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属する候補者25名を重点候補に指定し、この間のJ R 連合への政策支援に応えるべく一丸となって選挙戦を闘い抜いた。

10月27日に行われた投開票の結果、与党は大きく議席を失い、とりわけ自民は191議席(▲65議席)となり単独過半数を確保できず、さらには自公両党でも過半数 233議席を大幅に下回る215議席(▲73議席)となり、政権交代のあった2009年以来15年ぶりに与党議席数が過半数を割り込んだ。一方、立憲が148議席(+50議席)、国民が28議席(+21議席)を獲得するなど、野党は大幅に勢力を拡大した。J R 連合は、最重点候補者5名および重点候補者24名の当選を果たすことができた。

今選挙では、「政治とカネ」問題をはじめとして与党政治に厳しい審判が下され、まっとうな政治への前進、政権交代可能な二大政党制の構築に向けた大きなうねりが生まれたと言える。一方で、投票率は約54%(推定)と低迷したままである。度重なる自然災害への対応、深刻化する人手不足、労働法制や社会保障、教育・子育てなど、国民の生活に直結し、かつ個別労使では解決し得ない大きな課題は山積している。与党の過半数割れによって政局が大きく動くことになろうが、国民の期待に応える政治を実現できるか、野党側の真価が問われる。私たちは働く者・生活者に誠実に寄り添う勢力の大同団結を改めて心から望むが、これからの公正な政治である。責任ある政治改革を求めるとともに、私たちが連合の一員として関わりを深めていかねばならない。

J R 連合は今選挙の結果を受け課題を検証するとともに、国会議員懇談会および議員フォーラムの体制の強化を図り、政策課題、組織課題の解決に向け取り組んでいく。併せて、来夏に控える参議院議員選挙に向けて、そして連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、引き続き組織内で政治活動の意義の浸透やさらなる政治への参画意識の醸成などについても議論を深め、対応を進めていく決意である。

以上

第50回衆議院議員総選挙 国会議員懇談会・ フォーラム所属議員の当選で J R 連合の推し進める 政策の実現に近づく



最重点候補(国会議員懇談会所属)5人
重点候補(フォーラム所属)24人が当選



泉副会長を囲む J R 連合と J R 西労組の仲間



伴野副会長と選挙戦を戦い抜いた J R 東海ユニオンの仲間

先月の貨物鉄産労に続き J R 北労組自動車支部で加入

～新規採用者と北鉄労から～
J R バスで働く2千人
J R 連合8万4千人の仲間は
勇気ある決断を心より歓迎します



「社会の信用を損なう事象の発生に強い危機感を持つべき」と呼び掛ける荻山会長

冒頭、J R 連合荻山市朗会長が主催者を代表して挨拶に立ち、これまでの取り組みを振り返るとともに、輪軸組立作業に係るデータを受け、課題を検証するとともに、国会議員懇談会および議員フォーラムの体制の強化を図り、政策課題、組織課題の解決に向け取り組んでいく。併せて、来夏に控える参議院議員選挙に向けて、そして連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、引き続き組織内で政治活動の意義の浸透やさらなる政治への参画意識の醸成などについても議論を深め、対応を進めていく決意である。

第3部のパネルディスカッションでは、安部名誉教授をコーディネーター、パネリストに基幹労連嶋野俊博中央執行委員、J R 東海安

第13回安全シンポジウム

労働者が「人」の性質に向き合い
職場から安全確立の取り組みを創り上げよう

J R 連合は10月4日、京都市内で第13回安全シンポジウムを開催した。当日はJ R 連合加盟単組をはじめ、連合加盟産別、交通労協から総勢約250人が参集した。

本シンポジウムでは、「原点に立ち返り、業務・労働環境の実情・変化に即した仕組みを構築する」をテーマに掲げ、J R 産業における安全の位置付けやあり方を問うとともに、夏以降J R 各社で発生している重大な不安全事故に触れ、労働組合がチェック・提言機能を果たし、安全確立に向けて邁進する決意を共有した。

改ざんやJ R 九州高速船でのコンプライアンス違反、東北新幹線の新幹線列車の衝突、社会の信用を損なう事象の発生に強い危機感を受けた。

第1部では加盟単組より、離職の影響、アサーション等による安全意識醸成、教育研修等について課題提起を行った。

第2部では、関西大学安部誠治名誉教授より、人や組織で安全を創り上げる必要性等について、大原記念労働科学研究所松田文子特別研究員からは、ヒューマンファクターを踏まえた安全対策等に関し基調となる講演を受けた。

第3部のパネルディスカッションでは、安部名誉教授をコーディネーター、パネリストに基幹労連嶋野俊博中央執行委員、J R 東海安

全対策部赤地靖彦次長を招き、基幹労連の安全衛生の取り組みや労働発生状況、J R 東海の安全文化醸成の取り組みや事故基準の見直し等が紹介された。各パネリストからは、繰り返される事故をどう防ぐか、労働力不足という環境変化にどう対処すべきか関連した議論が展開され、労使が建設的な議論を交わし安全を確立する必要性を再認識した。

最後に、J R 連合吉田祥司安全対策委員長(J R 連合副会長・J R 九州労組中央執行委員長)が、労働組合のチェック機能の重要性を述べ、J R 産業の安全意識高揚を図る想いを会場全体で共有した。



Webで当選の御礼を述べる小川事務局局長



固く握手を交わす大串幹事 J R 九州労組役員と連帯を示す原口幹事

最重点候補(議員懇談会所属)の得票数			
当選	泉 健太	(京都3区/副会長)	82,823
当選	伴野 豊	(愛知8区/副会長)	115,282
当選	小川淳也	(香川1区/事務局長)	82,549
当選	原口一博	(佐賀1区/幹事)	96,083
当選	大串博志	(佐賀2区/幹事)	95,581



なかの はやみ (NO.330)

美人の湯

美人の湯

美人の湯

美人の湯



住吉一家代議員



實地雄大代議員

ニオン中央執行委員が発言に立ち、カスタマーハラスメントの実態や日本国内における交通労働協の取り組みを紹介したほか、労働者を

国際運輸労働連 (ITF) は10月13日から19日にかけて、モロッコ・マラケシュ市内において第46回世界大会を開催した。日本からは交通労働協に加盟する各産別から約60人が代議員・傍聴者として出席した。J R 連合から萩山会長、上村良成 (J R 西労組中央執行委員長 (J R 連合副会長)、吉田 J R 九州労組中央執行委員長 (同副会長)、住吉一家

一度開催される大会であり、全体会議のほか鉄道・観光・航空など多くの部会で構成され、向こう5年間の運動方針や各国から提出された動議の審議、役員選挙などが実施されている。今次大会において、J R 連合からの参加者は全体会議のほか、鉄道部会総会および都市交通部会総会に参加した。国際局長が発言に立ち、福



パレ・デ・Congre (大会会場) 前にて

交運労協第40回定期総会 持続可能な 交通運輸・観光サービス産業の 確立をめざす



「連携・協働・共創」のもと一丸となった取り組みを要請

交運労協は10月10日、「連携・協働・共創」のもと、向こう1年の活動方針を決定した。J R 連合からは、萩山会長が副議長、慶島議長特別執行委員が事務局長、政所大祐事務局長が幹事として参画したほか、執行部と各単組から総会代表議員6人と、地方交運労協派遣役員が出席した。冒頭、挨拶に当たった住野敏彦議長は、能登半島における美副会長、森屋隆事務局長

交運労協は10月10日、第40回定期総会を開催し、向こう1年の活動方針を決定した。J R 連合からは、萩山会長が副議長、慶島議長特別執行委員が事務局長、政所大祐事務局長が幹事として参画したほか、執行部と各単組から総会代表議員6人と、地方交運労協派遣役員が出席した。冒頭、挨拶に当たった住野敏彦議長は、能登半島における美副会長、森屋隆事務局長



石川産業政策局長

ら国会議員が出席し、連帯・激励の挨拶を述べた。その後、事務局から報告と各議案の提起が行われ、質疑応答で5人の総会代議員が発言に立った。J R 連合からは、石川敏也産業政策局長が「安全の確立」「貨物鉄道政策」「カスタマーハラスメントの防止」の3点について発言し、交運労協の力強い取り組みを要請した。また、近畿交運労協の西村誠事務局長 (J R 西労組出身) が「ライドシェア問題に係る取り組み」

地域活性化ボランティア 山梨県早川町 社会と繋がり 地域と繋がり

J R 連合は9月28日、29日、2008年から交流のある、山梨県早川町での地域活性化ボランティア活動を早川町役場と連携して実施した。

一日目には、本年11月で引退を表明している辻一幸町長から激励を受け、「44年間町長を務める中で、リニアの建設などもあったが、J R 連合の皆さんとの



辻一幸早川町長

信頼関係のもと、リニア建設推進の立場で応援してきた。これからもJ R 連合の皆さんのお力添えを頂きたい」と感謝と連帯の挨拶を受けた。

その後、集落の山側を開む獣害防止柵が雑草で覆われていたため、参加者全員で柵周辺の草刈りや柵に絡みついたツル取りなどを行った。



集落を囲むせき (側溝) を整備する参加者

保地区の皆さんと郷役で協働

私達は2003年にJ R 四国に入社し、宇和島駅での制御所指令員を経て現在は運輸課で輸送指令員として勤務しています。本年4月に輸送指令長に任命され、四国中の運行管理に関わるようになり、慣れないながらも日々の安定・安全輸送に努めています。またダイヤ作成の基本担当として本年3月のダイヤ改正では、徳島線、現在土讃線・予土線の改正を担当しています。設備・要員な

れているため、参加者全員で柵周辺の草刈りや柵に絡みついたツル取りなどを行った。

2日目は、用水路の周辺整備、耕作放棄地の整備、公民館近辺の環境整備等、この日も草刈りを中心に活動した。作業終了後は、地元保地区の皆さんとの昼食懇談会も実施し、保地区の住民も久しぶりの再会に頬を緩ませていた。J R 連合は、J R 産業が社会

役員紹介



四国旅客鉄道労働組合 (J R 四国労組) 本社支部 執行委員長 寶田 晃さん

私は2003年にJ R 四国に入社し、宇和島駅での制御所指令員を経て現在は運輸課で輸送指令員として勤務しています。本年4月に輸送指令長に任命され、四国中の運行管理に関わるようになり、慣れないながらも日々の安定・安全輸送に努めています。またダイヤ作成の基本担当として本年3月のダイヤ改正では、徳島線、現在土讃線・予土線の改正を担当しています。設備・要員な

ど、様々な課題を加味したうえでダイヤを作成していますが、お客様の利便性が第一になるよう日々、頭を悩ませています。趣味とまではいきませんが、最近ゴルフを始めました。始めてみるとボールが飛んでいく爽快感にハマりました。また始めて数か月ですがコースにもデビューし、カートに乗らずに歩いて、自然の中を走り回るだけで良い気分転換になりました。最後に、本部・支部・分会の連携を密にし、まずは参加したくなる組合活動をめざし活動していきます。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



保地区の皆さんとJ R 連合からの参加者

こくみん共済 coop NEWS

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、
次のステージへ

公式キャラクター
ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 <全労済>

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。